

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立黒瀬中学校	校長	三原 隆行	生徒指導主事	岡 真吾
-----	------------	----	-------	--------	------

取組事例名	『1年を通じた縦割り活動』
-------	---------------

取組における育てたい資質・能力		
-----------------	--	--

人間関係形成	社会参画	自己実現
「コミュニケーション能力」 2	「主体性・積極性」 1	「自己理解・自らの自信」 3

取組のねらい

○本校生徒指導目標である、『自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒の育成』を達成するために、学校行事を縦割り活動で計画し、主体的に取り組む態度や共感的な人間関係を築く力を身に付けることを目指した。

○生徒会を中心に縦割り活動で行っていくことで、異年齢の集団の中で互いに切磋琢磨し、生徒の主体的な活動を向上させる。また、上級生がリーダーとなり後輩を思いやり、後輩が先輩を尊敬しながら活動を進めていくことで、共感的人間関係を育むとともに自己存在感を与え、自己指導能力の向上につなげていく。

取組の具体的内容	取組の創意工夫
----------	---------

- (1) 1年を通して縦割り活動を計画し、主体的に取り組む行事等を仕組んだ。
- (2) 生徒会を中心に、行事ごとに実行委員を選出し、生徒主体で企画・運営し、教職員はサポート役に回った。リーダー研修やリーダーからの提案の発信など掲示物を活用し工夫させた。
- (3) 縦割りの団ごとに集まる場面を設定し、先輩から後輩へ、後輩から先輩への感謝や思いやりを伝える機会を作り、共感的人間関係を育むとともに自己存在感を与え、自己指導能力の向上につなげた。
- (4) 行事終了後を大切にし、行事のねらいやつけたい力を確認し、今後の生活にどうつなげていくか振り返りや集会を使って確認を繰り返した。
- (5) 縦割り行事も現状維持ではなく前進していくために、新生徒会執行部で来年度の実施計画を立案している。

学校教育目標を『前向き』を合言葉に

- 取組①リーダーの育成
各行事で実行委員を募り、リーダー育成の機会をもった。
- 取組②系統的な掲示物
各行事後に先輩から後輩へ、後輩から先輩へのありがとうメッセージを送りあい、感謝の気持ち・あこがれや尊敬の思いを伝え、お互いの自己肯定感の向上につなげた。
- 取組③地域との連携
各行事で、地域の講師を招くことや会場を利用するなど生徒の意欲を向上させられる機会になった。



取組の成果と課題

- ・縦割り活動を行ったことで、生徒アンケート「行事に主体的に参加している」という質問に対し肯定的な回答が88%で、前期より3%向上している。また、ここ数年間本校の課題でもあった暴力行為が減少し、異年齢間の暴力行為は0件と互いを大切に思いやる共感的人間関係の育成にもつながった。
- ・黒瀬中学校の縦割り行事が、学校の伝統的文化となるように今後も前進していきたい。